

全日本学童軟式野球大会は昭和56年夏が第1回大会。第3回まで九州8県2枠の16チーム。第4回に27チームの4枠となったが長崎県代表は九州大会で敗退した。

昭和60年第5回記念大会は全支部代表参加で勝山スポーツ少年団が参加。再び九州4枠となり、63年第8回大会から都道府県代表の48チーム参加となった。会場は第1回の東京都から、大阪、静岡、滋賀、岐阜…、と持ち回り開催が、平成2年第10回大会から野球場施設が多数ある茨城県水戸市を中心に固定化。平成7年第15回大会から日本マクドナルド(株)の協賛により、「マクドナルド・トーナメント」の冠が付いた。

また平成9年第17回大会より高円宮憲仁親王殿下から優勝杯が下賜され『高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント』として開催されることになった。平成14年11月に親王殿下がご逝去。宮様の遺志を継いで翌年に親王妃久子殿下に全日本軟式野球連盟の名誉総裁にご就任いただき、賜杯大会を続けている。

茨城県で19年間開催されたが、平成21年からは東京都に戻り開会式や一部の試合は明治神宮球場で行われており、参加数も東京と北海道が2チーム。前年度優勝(推薦)の51チーム参加で5～6日間の競技日程となっている。

長 崎 県 代 表 チ ー ム の 戦 績 表			チ ー ム 名 の ○ 数 字 は 出 場 回 数			
第1回 S. 56年	チーム名不明	九州で敗退	第19回 平成11年	長崎ファイターズ ③	第30回 平成22年	戸尾ファイターズ ④
第2回 S. 57年	チーム名不明	九州で敗退	【二】 4-14 (静岡)函南少年野球クラブ		【一】 13-1 (島根)長久野球スポーツ少年団	
第3回 S. 58年	チーム名不明	九州で敗退	第20回 平成12年	戸尾ファイターズ	【二】 8-1 (岐阜)真正野球クラブ	
第4回 S. 59年	勝山少年団	九州で敗退	【一】 10-3 (茨城)水戸市野球スポーツ少年団		【三】 8-4 (滋賀)愛東スポーツ少年団	
第5回 S. 60年	勝山スポーツ少年団 ②		【二】 0-7 (岐阜)SS昭和クラブ		【準々】 3-6 (宮崎)五十市タイガース	
【二】 0-5 (三重)有馬クラブ			第21回 平成13年	長崎ファイターズ ④	第31回 平成23年	西諫早少年野球団 ③
第6回 S. 61年	相浦少年野球クラブ	九州で敗退	【一】 7-6 (奈良)西方パワーズ		【一】 2-8 (秋田)新山グリッターズ	
第7回 S. 62年	大村クラブ	九州で敗退	【二】 2-8 (鳥取)上道チャイルド=準優勝		第32回 平成24年	戸尾ファイターズ ⑤
第8回 S. 63年	旭クラブ		第22回 平成14年	戸尾ファイターズ ②	【一】 1-3 (石川)富陽学童クラブ	
【二】 3-4 (岐阜)小泉クラブ			【一】 3-5 (東京第1)葛飾アニマルズ		第33回 平成25年	波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ
第9回 平成元年	旭クラブ ②		第23回 平成15年	戸尾ファイターズ ③	【一】 2-4 (栃木)陽南学童野球クラブ	
【二】 9-8 (徳島)藍住北キングススポーツ少年団			【二】 5-4 (北海道南)砂川スティッカーズ		第34回 平成26年	波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ ②
【三】 2-12 (兵庫)桜台ハンターズ			【三】 7-4 (和歌山)西脇少年野球クラブ		【一】 5-6 (島根)全揖屋ジュニア	
第10回 平成2年	大村クラブ		【準々】 6-17 (鹿児島)伊敷台ホームランズ		第35回 平成27年	セインツジュニア
【一】 4-5 (東京)大森ジュニアラッキーズ			第24回 平成16年	西諫早少年野球団	【一】 0-5 (大阪)長曾根ストロングス=優勝	
第11回 平成3年	日野クラブ		【一】 0-7 (富山)古里レッドスターズ		第36回 平成28年	戸尾ファイターズ ⑥
【一】 0-7 (福島)常盤軟式野球スポーツ少年団			第25回 平成17年	上長崎少年ウィンズ	【一】 5-4 (東京第2)クラウン	
第12回 平成4年	横尾小クラブ		【一】 8-12 (東京東)竹仲		【二】 3-2 (奈良)二上スポーツ少年団	
【一】 9-8 (東京)ニ小ブラックイーグルス			第26回 平成18年	大村クラブ ③	【三】 1-3 (神奈川)富士見台ウルフ少年	
【二】 4-3 (岐阜)八百津レインボース			【一】 6-2 (茨城)荃崎ファイターズ		第37回 平成29年	波佐見鴻ノ巣少年野球クラブ ③
【三】 4-5 (島根)乃木ライオンズ=優勝			【二】 12-5 (岐阜)三里		【一】 0-17 (北海道南)東16丁目フリップパーズ=優勝	
第13回 平成5年	長崎ファイターズ		【三】 1-4 (大阪)長曾根ストロングス=準優勝		第38回 平成30年	戸尾ファイターズ ⑦
【一】 7-2 (富山)堀岡スポーツ少年団			長曾根は前年度優勝で推薦出場		【一】 1-0 (兵庫)成徳イーグルス	
【二】 1-6 (京都)岡屋スポーツ少年団=優勝			第27回 平成19年	大村クラブ ⑤	【二】 3-2 (神奈川)永田台少年野球部	
第14回 平成6年	横尾小クラブ ②		【一】 5-12 (岐阜)川島クラブ		【三】 2-4 (福井)富田エンゼルス	
【一】 10-4 (愛知)豊田虎			第28回 平成20年	西諫早少年野球団 ②	第39回 令和元年	南長崎マリナーズ ①
【二】 6-5 (山形)若浜野球スポーツ少年団			【一】 1-5 0-0で延長八回:(和歌山)西脇少年		【一】 2-3 (福井)木田ネイビーブルーズ	
【三】 2-3 (広島)鞆古城クラブ			第29回 平成21年	盈科少年軟式野球クラブ	第40回 令和2年	
第15回 平成7年	長崎ファイターズ ②		【二】 4-2 (青森)板柳東BBC		【一】	
【二】 5-4 (京都)向陽オックス			【三】 1-0 [七回裏サヨナラ](東京第2)堤若草		【二】	
【三】 4-7 (大阪)熊取ベアーズ=優勝			【準々】 2-4 (滋賀)多賀少年野球クラブ=準優勝		【三】	
第16回 平成8年	平山エンゼルス					
【一】 16-7 (青森)堀越クラブ						
【二】 9-4 (静岡)赤坂ヤングス						
【三】 1-11 (新潟)大蒲原野球スポーツ少年団						
第17回 平成9年	平山エンゼルス ②					
【一】 11-2 (東京東)桃一小野球クラブ						
【二】 6-4 (青森)梅沢小クラブ						
【三】 4-9 (茨城)球愛クラブ=優勝						
第18回 平成10年	大村クラブ ②					
【一】 1-2 (栃木)横倉学童						

令和元年 第39回大会 長崎県代表 『南長崎マリナーズ』



長崎県学童選手権大会 小史

長崎県少年軟式野球大会は昭和46年8月下旬に長崎市大橋球場で、中学9学童2チームの参加で開催された

翌47年に中学12、学童4の大会を第1回県少年軟式野球選手権大会と銘打って長崎新聞社と県軟式野球連盟の共催で始まった。第4回大会までの学童は4チーム参加で行なっており長崎代表2チームに加え第2、3回大会は大村クラブと北松の江迎クラブ。第4回では遠来の対馬が参加し大村と共に長崎代表に挑んだが敢え無く敗退している。

全日本学童軟式野球大会は昭和56年夏が第1回大会。第3回まで九州8県2枠の16チーム。第4回に27チームの4枠となったが県代表は九州大会で敗退した。

昭和60年第5回記念大会は全支部代表参加で勝山スポーツ少年団が参加。再び九州4枠となり、63年第8回大会から全国48チーム参加となった。

県少年選手権大会は大橋球場が老朽化により解体された平成6年以降は中学と分離。それぞれが各支部の主管となり学童の部は長崎市仮設の神ノ島で7年と9年の2大会を行ない、10年と11年は新設された県営ビッグNスタジアムとかきどまり野球場の2会場使用し、チビッコ達に大きな夢を抱かせたが、12年以降は下表のとおり各地で開催している。

参加チーム数も年々増え、平成12年(第29回)は9支部15チームだったが平戸開催の14年(第31回)から平戸支部内にチームが誕生した。平成16~17年度の市町村合併で北高来支部の消滅はあったが、19年には島原、福江、対馬を除く12支部登録があり(下表参照)、24年には最多の71チームが登録し県学童大会は23チーム参加のビッグな大会となった。

また支部ごとの参加チームも県連登録10チーム以上の支部からは3、9~5が2チームと参加枠が広がり、開催地からは1チーム増となる開催地枠も設けてチビッコ野球選手の”晴れ舞台”への門戸を広げている。

平成15年に『王貞治杯九州学童軟式野球大会』が始まり県学童選手権優勝チームが長崎県代表として参加している。平成25年の第11回大会(長崎)では戸尾ファイターズが決勝戦進出し福岡県に5-15敗戦の準優勝。28年第14回大会(大分)の戸尾ファイターズは、大分、沖縄を下して、決勝戦も佐賀に5-3勝利で初優勝を達成した。

王貞治杯 九州学童大会

回	年	チーム	戦績
1	15	旭クラブ	●
2	16	飯盛学童	
3	17	石田少年	
4	18	大村クラブ	準優勝
5	19	旭クラブ	●
6	20	西諫早少年	
7	21	盈科少年	●
8	22	相浦西少年	②●BEST4
9	23	大村ベアーズ	①●
10	24	八幡少年	●
11	25	戸尾ファイターズ	②③●準優勝
		南長崎マリナーズ	●
		江上フェニックス	●
12	26	松浦少年	●
13	27	ブラックダイヤモンド	●
14	28	戸尾ファイターズ	①②③優勝
15	29	松浦少年	●
16	30	戸尾ファイターズ	●
17	元	相浦クラブ	●

年	回	参加数	県学童選手権大会での優勝チームと準優勝チーム	
			優勝	準優勝
47	1	4	勝山スポーツ少年団(長崎)	高島尾花クラブ(西彼杵)
48	2	4	石神河内台クラブ(長崎)	鮑ノ浦クラブ(長崎)
49	3	4	佐古クラブ(長崎)	石神河内台クラブ(長崎)
50	4	4	勝山スポーツ少年団(長崎) ②	小島クラブ(長崎)
51	5	10	相浦クラブ(佐世保) ①	小佐世保クラブ(佐世保)
52	6	6	横尾クラブ(佐世保) ①	松浦クラブ(松浦)
53	7	9	高島少年クラブ(西彼杵) ①	相浦少年クラブ(佐世保)
54	8	7	高島少年クラブ(西彼杵) ②	西大村クラブ(大村)
55	9	10	相浦クラブ(佐世保) ②	ニュー大村クラブ(大村)
56	10	10	旭クラブ(大村) ①	大村クラブ(大村)
57	11	9	旭クラブ(大村) ②	東長崎イーグルス(長崎)
58	12	11	相浦クラブ(佐世保) ③	波佐見パイレーツ(東彼杵)
59	13	11	旭クラブ(大村) ③	大村クラブ(大村)
60	14	12	横尾小クラブ(長崎) ②	波佐見パイレーツ(東彼杵)
61	15	13	相浦少年クラブ(佐世保) ④	西坂クラブ(長崎)
62	16	13	旭クラブ(大村) ④	大村クラブ(大村)
63	17	11	横尾小クラブ(長崎) ③	平山エンゼルス(長崎)
H元	18	13	横尾小クラブ(長崎) ④	西諫早少年野球団(諫早)
2	19	13	横尾小クラブ(長崎) ⑤	大村クラブ(大村)
3	20	14	日野クラブ(佐世保)	旭クラブ(大村)
4	21	12	横尾小クラブ(長崎) ⑥	平山エンゼルス(長崎)
5	22	14	平山エンゼルス(長崎) ①	西諫早少年野球団(諫早)
6	23	14	西坂クラブ(長崎)	八幡小ジュニア(壱岐)
7	24	14	波佐見パイレーツ(東彼杵)	旭クラブ(大村)
8	25	15	平山エンゼルス(長崎) ②	マリNZ(佐世保)
9	26	15	平山エンゼルス(長崎) ③	桜町少野球クラブ(長崎)
10	27	15	深堀ライオンズクラブ(長崎)	大村クラブ(大村)
11	28	15	平山エンゼルス(長崎) ④	戸尾ファイターズ(佐世保)
12	29	15	平山エンゼルス(長崎) ⑤	東長崎イーグルス(長崎)
13	30	17	鴻ノ巣少年クラブ(東彼杵)	長崎ファイターズ(長崎)
14	31	14	戸尾ファイターズ(佐世保) ①	平戸少年クラブ(平戸)
15	32	19	旭クラブ(大村) ⑤	戸尾ファイターズ(佐世保)
16	33	17	飯盛学童クラブ(北高来)	大村クラブ(大村)
17	34	20	石田少年クラブ(壱岐)	波佐見パイレーツ(東彼杵)
18	35	20	大村クラブ(大村)	旭クラブ(大村)
19	36		旭クラブ(大村) ⑥	不明【調査中】
20	37	23	西諫早少年野球団(諫早)	西山少年野球団(長崎)
21	38	22	盈科少年クラブ(壱岐)	上長崎少年ウインズ(長崎)
22	39	21	相浦西少年クラブ(佐世保)	大村クラブ(大村)
23	40	22	大村ベアーズ(大村)	東小アトムズ(東彼杵)
24	41	23	八幡少年クラブ(壱岐)	西山少年野球団(長崎)
25	42	22	戸尾ファイターズ(佐世保) ②	南長崎マリナーズ(長崎)
26	43	23	松浦少年クラブ(松浦) ①	サンボーイズ(県北)
27	44	21	ブラックダイヤモンド(県北)	セイントジュニア(佐世保)
28	45	22	戸尾ファイターズ(佐世保) ③	ブラックダイヤモンド(県北)
29	46	20	松浦少年クラブ(松浦) ②	セイントジュニア(佐世保)
30	47	21	戸尾ファイターズ(佐世保) ④	松浦少年クラブ(松浦)
元	48	21	相浦クラブ(佐世保) ⑤	戸尾ファイターズ(佐世保)
2	49			

県学童大会開催地

年	回	開催地
12	29	大村
13	30	県北
14	31	平戸
15	32	東彼杵
16	33	大村
17	34	大村
18	35	東彼杵
19	36	東彼杵
20	37	東彼杵
21	38	壱岐
22	39	松浦
23	40	西海
24	41	西海
25	42	東彼杵
26	43	東彼杵
27	44	県北
28	45	県北

各支部内の学童チーム登録数変遷

支部	3年	6年	12年	19年	24年	27年	29年
長崎	10	10	11	11	13	10	10
佐世保	5	6	7	6	8	7	8
諫早	5	6	3	7	7	7	7
大村	6	6	4	5	8	5	6
島原	1	0	0	0	1	1	1
平戸	0	0	0	4	4	4	4
松浦	0	0	0	1	1	1	1
福江	1	1	0	0	0	1	1
東彼杵	5	6	5	5	5	5	5
西彼杵	2	2	2	2	2	2	2
南高来	0	0	0	1	1	1	1
北高来	6	5	6	17年に支部消滅			
県北	0	0	5	10	11	9	9
上五島	0	0	0	1	1	0	0
壱岐	8	12	10	10	9	7	7
対馬	0	0	0	0	0	0	1
計	49	54	53	63	71	60	63

全日本中学女子軟式野球大会

第1回 H.28年 (京都)	【二】	ビクトリア長崎	000 000 0	0
		オール大分ガールズ	020 100 X	3
【決勝】オール大分ガールズ 6-5 埼玉スーパースターズ				
第2回 H.29年 (京都)	【二】	千葉マリンスターズヤング	020 361 0	12
		ビクトリア長崎	110 000 0	2
【決勝】マドンナジュニア愛媛 6-3 千葉マリンスターズ				
第3回(H.30年)は不参加				
第4回 R.元年 (京都)	【二】	滋賀マイティーエンジェルス	000 011 3	5
		ビクトリア長崎	100 000 0	1
【決勝】オール茨城女子 5-0 熊本暴れん坊ガールズ				



全日本女子<中学生>軟式野球九州大会

第3回(H.25年)		熊本市	参加=11チーム
A	【一回戦】	長崎選抜	6-0 美ら沖縄南
バ	【二回戦】		7-0 鹿児島選抜
ト	【決勝戦】		3-3 美ら沖縄南 (雨と日没で2チーム優勝)
第4回(H.26年)		熊本市	参加=10チーム
	【一回戦】	長崎選抜	8-3 オール大分ガールズ
	【二回戦】		12-1 熊本県選抜B
	【準決勝】		1-5 福岡選抜
第5回(H.27年)		熊本市	参加=9チーム
	【二回戦】	長崎選抜	2-5 鹿児島県女子選抜
第6回(H.28年)		熊本市	参加=8チーム
	【一】	ビクトリア長崎	4-0 Crescendo(福岡)
	【準】		7-6 暴れん坊ガールズ(熊本)
	【決】	優勝	2-0 鹿児島県選抜(鹿児島)

平成28年第6回九州大会で優勝のビクトリア長崎ナイン



第1回 ろうきん杯九州女子中学生軟式野球大会

令和元年11月9日~10日 別府市 参加=8チーム
【一】 ビクトリア長崎 0-9 オール大分ガールズ

第7回(H.29年)	熊本市	参加=8チーム
参加=11 福岡① 佐賀① 長崎① 大分① 熊本② 宮崎③ 鹿児島②		
【一】	ビクトリア長崎	3-5 福岡アストライア
【決勝】	福岡アストライア	7-3 オール大分ガールズ

第8回(H.30年)	熊本市	参加=14チーム
参加=14 福岡① 佐賀① 長崎① 大分② 熊本② 宮崎④ 鹿児島② 沖縄①		
【一】	ビクトリア長崎	4-0 Neo大分ガールズ
【二】		7-0 沖縄ガールズ
【準】		1-6 熊本暴れん坊ガールズクィーン

NPBガールズトーナメント【小学生の部】

2013 (H.25年)	開催地=東京	参加=30
【一回戦】	ビクトリア長崎	2-25 千葉なのはなガールズ=準優勝
2014 (H.26年)	開催地=東京	参加=36
【一回戦】	ビクトリア長崎	1-8 Jyoshi One(埼玉)
2015 (H.27年)	開催地=埼玉	参加=38
【一回戦】	ビクトリア長崎	7-8 足立フェアリー(NPB推薦)
2016 (H.28年)	不参加	
2017 (H.29年)	開催地=埼玉	参加=39
【二回戦】	ビクトリア長崎	7-19 オール宮城ブルーリボン



2018(H.30)、2019(R.元)大会は、不参加

全日本女子<小学生>軟式野球九州大会

第3回(H.25年)		熊本市
【一回戦】	ビクトリア長崎	10-9 NKEドリーム21(宮崎)
【二回戦】		0-10 熊本選抜エンゼルス
第4回(H.26年)		熊本市 参加=10チーム
【一回戦】	ビクトリア長崎	8-12 佐賀市選抜
第5回(H.27年)		熊本市 参加=9チーム
【一回戦】	ビクトリア長崎	7-0 嬉野・太良選抜女子(佐賀)
【二回戦】		4-5 オール大分ガールズ
第6回(H.28年)		熊本市 不参加
第7回(H.29年)		熊本市 参加=10チーム
参加=10 佐賀② 長崎① 大分① 熊本② 宮崎③ 沖縄①		
【一回戦】	ビクトリア長崎	1-10 延岡ガールズ(宮崎)

第1回 ろうきん杯九州女子小学生軟式野球大会

令和元年11月9日~10日 別府市 参加=6チーム

◆不参加◆